

山梨県テニス協会創立50周年によせて



山梨県高等学校体育連盟テニス専門部
部長 浅川英三

山梨県テニス協会創立50周年おめでとうございます。まさに発展と繁栄の半世紀を振り返るとい
う区切りに立ち会えることができ、喜びに堪えません。高体連テニス専門部は、現テニス協会会長
土屋金藏先生が山梨県庭球協会と同時に昭和41年に創立されました。関東では東京・神奈川・埼玉・
群馬に次いで5番目の加盟県として、昭和41年第23回秋田インターハイに男子の機山工業高校(監
督は土屋金藏先生)が出場しています。女子はその翌年の第24回長野インターハイに甲府南高校(監
督は崎田英郎先生)が出場しています。創立当初2校だった加盟校も現在では、男子25校・女子24
校となり、登録部員数は900名を数えるようになりました。

テニス協会とともに歩んできた高体連テニス専門部でございますが、この50年間で一番の出来事
は、平成8年の第53回山梨インターハイです。猛暑の中、小瀬スポーツ公園と緑が丘スポーツ公園
で熱戦が繰り広げられました。山梨県のテニス部員は、暑さや全国大会のプレッシャーに負けるこ
となく審判員をやり遂げました。当時の植松嗣男委員長を中心として、多くの先生方の協力やテニ
ス部員の努力により本県の輝く歴史の一つとしてインターハイを開催することができました。選手
の皆さんはもちろん、応援の方々、顧問の先生方、保護者の方々をはじめ会場に足を運んでいただ
いたすべての皆様に感謝しています。

また、もう一つ心に残っておりますのは、平成23年3月11日の東日本大震災です。高体連テニ
ス専門部では、選手の皆さん、保護者の方々及び多くのテニス関係者の協力をいただきながら、被
災された地域への支援に取り組みました。応援フラッグ、大会期間中の支援金活動・支援ボール、
甲府一高による青森インターハイでの宮城県南三陸町ボランティア活動、支援Tシャツの販売等、
岩手・宮城・福島の3県の高体連テニス専門部に対して微力ながら支援の協力をさせていただいた
ことは、選手ばかりではなく、本県テニス専門部にとって貴重な成果の一つでした。多くのテニス
部員が「高校生として私たちはいったい何ができるのか？」を考えてくれました。今なお苦しんで
おられる被災者の方々のことを心に刻み、スポーツがあまねく人々にもたらす力を大切に今後も活
動に取り組んでいきたいと思っております。

県内の高校生は近年競技力が上がっており、全国大会で活躍する選手が多くなってきました。こ
れも、ひとえに高体連テニス専門部に関わる皆様方の日頃の熱心な指導によるものだと思います。
今後は、これ以上の成績を目指し、山梨県全体のテニス競技のさらなるレベルアップを図ることが
高体連テニス専門部の大きな課題だと考えています。

終わりに、山梨県テニス協会の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、高体連テニ
ス専門部との連携を深めつつ、山梨県テニス協会が今後一層の充実、発展されることを祈念申しあ
げます。